

## 議 事 要 旨

<b>名 称</b>	令和5年度 第1回中小企業振興円卓会議		
<b>開催日時</b>	令和5年7月4日（火）10:00～12:00		
<b>開催場所</b>	KH三番町プレイスビル 3階第1会議室		
<b>委 員</b>	<b>出 席</b>	愛媛大学 法文学部 教授	和田 寿博（座長）
		公益社団法人松山法人会 事務局長	淵上 悟（副座長）
		松山商工会議所 経営支援部 経営支援課 課長	近藤 綾子
		北条商工会 事務局長	伊藤 伸也
		中島商工会 事務局長	坂東 健吾
		愛媛県中小企業団体中央会 振興部 支援課 課長	大南 昌宏
		愛媛大学 社会連携推進機構 教授	前田 眞
		松山短期大学 教授	黒田 明良
		愛媛県中小企業家同友会 松山支部 支部長	桑波田 健
		公益財団法人えひめ産業振興財団 創業支援課 担当課長	古川 一志
		株式会社日本政策金融公庫 松山支店 融資第三課 課長	永田 充
		愛媛銀行 公務ふるさと振興部 部長	岡田 温仁
		愛媛信用金庫 地域事業振興部 推進役	唐崎 秀樹
		愛媛県若年者就職支援センター（ジョブカフェ愛work）チーフディレクター	寺尾 真奈美
		特定非営利活動法人ワークライフ・コラボ 代表理事	堀田 真奈
<b>欠 席</b>	伊予銀行 地域創生部 次長	森貞 卓磨	
	愛媛県経済同友会 事務局長	川平 明生	
<b>事 務 局</b>	松山市産業経済部 副部長 兼 地域経済課 課長	丹生谷 英司	
	松山市産業経済部 地域経済課 ふるさと納税・企業支援担当課長	中島 敏喜 他	

議事内容

**1. 開 会**

**2. 役員を選任について**

●中小企業振興円卓会議規約第5条の規定に基づき、座長・副座長および監事の選任について採択を行い、全会一致で承認された。詳細は以下のとおり。

座 長：和田委員      副座長：淵上委員      監 事：森貞委員・岡田委員

**3. 令和4年度収支決算について**

●事務局より、令和4年度収支決算並びに監査報告についての説明を行った後採択を行い、全会一致で承認された（資料2，3）

**4. 各部会による進捗報告等について**

●各専門部会長より、令和5年度の部会活動進捗報告を行った。（資料4-1～4-3）

●委員から、各専門部会の新たな取組みについての意見や質問が挙げられた。

- ・それぞれの部会で個別の課題解決に繋がっている部分があるが、次の段階として松山市の中小企業の置かれている課題解決につながる提言が生まれるとさらに効果があると思う。

**5. その他**

●「人材確保（育成）人手不足について」、「生産性向上」をテーマに、意見交換を行った。

●委員から、以下の意見が挙げられた。

- ・学生の会社選考の時期が早まっている。従来ではインターンシップは3年生が中心であったが、2年生も行っており、3年生の8月のインターンシップで一部の大手が内々定を出していたが、それがだいぶ広がっている。3年生の後半になると会社数を絞っているので、会社説明会を開催してもあまり集まらない。
- ・人口も減っていくので中小企業の人材確保が好転することを期待することは難しい。学生は地元の企業を知らないまま対象にもならないという、厳しい状況が続くため、地元の企業の紹介を早めにやっておかないといけない。
- ・都市圏の大企業で働いている人に副業で地方の中小企業の応援をしてもらう事業を実施しても、活用が進まない。ホームページの制作などベンダーに発注するより破格の価格で活用できるのだが、中小企業さんに届いていない。
- ・人材確保について、外国人材の活用もポイントになるのではないか。
- ・若者、学生、女性、外国人のカテゴリーで議論することに違和感がある。もう少しまとめて採用のことを考えていかなければいけない。
- ・地方には優秀な女性が残っており、東京の大企業がリモートでも仕事ができるので、一本釣りしているとのことで、地元の企業も都心の企業と人の取り合いをしていく時代になっている。
- ・人材確保は賃金競争になりがちだが、大切なのは職場づくり、会社づくり。

●事務局より、事業者向け支援施策の紹介および説明を行った。

**6. 閉 会**